

焼き芋をしました

2017. 11. 16 (木) きりん組

お芋掘りの時、「焼き芋したいなあ」という声が多かったので、焼き芋をすることにしました。計画をたてようとする、「焼き芋ってどうやってやるんだろう？」という疑問が出てきました。そこで、焼き芋をするためには何が必要かをみんなで調べ、落ち葉や木の枝を集めることにしました。

計画した焼き芋の日まであまり日数がなかったので、散歩に出かける度に、落ち葉や木の枝を集めて来ることにして、なんとか準備が整いました。



固くてなかなか切れない…

～ 焼き芋 当日 ～

お芋を洗って、大きいものは切ります。



塗れた新聞紙とアルミホイルでお芋が見えないように包みます。

薪に火を起こします。保育参加に来ていた

つばさちゃんのお母さんが、「火を起こしたことがある」とのことで、一気に心強くなりました。まず、マッチで新聞紙に火をつけ、その火が木の枝に燃え広がっていく様子に、子ども達は興味いっぱいでした。



火がどんどん大きくなっていく！



火がどんどん大きくなっていく様子、煙が上がり、においが増し、少しずつ炎が小さくなって、木が赤く燃える様子などを傍で感じながら、「あったかいね」「ちょっと怖い…」「木が黒くなってきた」と、色々な声が聞こえて来ました。

火が落ち着いておき火になったら、いよいよお芋を入れてきます。「おいしくな～れ」と願いを込めながら、入れていました。お芋を落ち場で隠したら、焼けるのを待つ間は、トンゴで落ち葉を入れたり、遊んだりしながら、まだかまだかと楽しみにしていました。大人たちは、お昼ご飯の時間が迫り、内心ヒヤヒヤしてしまいましたが…。なんとか時間も間に合い、おいしい焼き芋ができました。



火が危なくないように、バケツに水も用意しておこう！



見つけた！
ここにもお芋
あるよ！



焼けてるかな…



「焼き芋のいいにおいがするよ、かいでごらん！」
「(くんくん) 本
当だー！」



ホクホクして
おいし～♪



初めての焼き芋、保護者の方の力も借りて、楽しむことができました。

